

Genie®

運転マニュアル
及びメンテナンス情報

First Edition,
Ninth Printing
Part No. 48735JA

GS™-2668 RT
GS™-3268 RT

Genie® GS™-2668 RT
Genie® GS™-3268 RT

重要

機械を運転する前に以下の安全規則及び運転マニュアルを熟読・理解し、その指示に従ってください。訓練・許可を受けた者のみが機械の運転を行うことができます。このマニュアルを機械の必要な部品の 1 つとみなし、常に機械のそばに置いてください。不審な点、ご質問は、Genie Industries にお問い合わせください。

目次

ﾍﾟｰｼﾞ

安全規則 1
凡例 7
制御 8
始業前点検 12
メンテナンス 14
機能検査 17
作業場所の点検 20
運転の方法 21
輸送の方法 25
床荷重 26
表示ラベル 27
仕様 29

お問い合わせ先：

ホームページ： http://www.genielift.com
電子メール： techpub@genieind.com

Genie® Industries

著作権 © 1998 Genie Industries

第1版： 第1刷、 1998 年 7 月
第2刷 1998 年 8 月
第3刷 1998 年 11 月
第4刷 1999 年 6 月
第5刷 1999 年 7 月
第6刷 1999 年 11 月
第7刷 2000 年 6 月
第8刷、2000 年 9 月
第9刷、2000 年 10 月

"Genie"は米国及びその他の国におけるGenie Industriesの登録商標です。 "GS"は Genie Industries の登録商標です。

本機械はANSI/SIA 92.6-1999 に準拠しています。

♻ 再生紙に印刷しています。S

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

マニュアルに書かれている指示及び安全規則に従わない場合、死亡事故や大きな災害事故を引き起こす恐れがあります。

運転に際しては、以下の項目を遵守してください。

☑ 運転者は、運転マニュアルに書かれている機械の安全運転の原則を理解し、習熟してください。

1 危険な状況を避ける。

次のセクションに進む前に安全原則を熟知し、完全に理解してください。

2 運転前の点検を必ず行うこと。

3 使用に先立って必ず機能検査を行うこと。

4 作業場所の点検を行うこと。

5 本来の目的以外に使用しないこと。

☑ 運転者は以下を読み、理解し、それに従うこと。

メーカーの指示及び安全規則—安全マニュアル、運転マニュアル及び機械の表示ラベル

従業員安全規則及び作業場規則

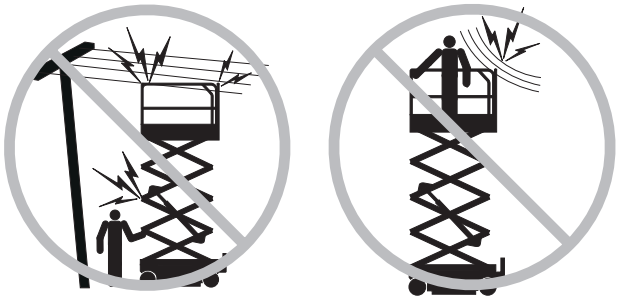
該当する法規

☑ **運転者**は機械を安全に運転するための適切な訓練を受けていること。

安全規則

感電死の危険性

この機械は絶縁されて**いない**。万一、電流に接近、接触した場合、感電を防止する機能はついて**いない**。



該当する法規及び以下の表に基づき、電線及び器具から安全な距離を維持すること。

電圧 位相間	**最低安全 接近距離 メートル**
0 ~ 300V	接触を避ける
300V ~ 50kV	3.05
50kV ~ 200kV	4.60
200kV ~ 350kV	6.10
350kV ~ 500kV	7.62
500kV ~ 750kV	10.67
750kV ~ 1000kV	13.72

プラットフォームの動き、電線の揺れ・弛みを考慮に入れ、強風・突風に注意すること。

通電中の電線に機械が接触した場合は、機械から離れること。電線の通電を止めるまでは、地上及びプラットフォーム上の人員は機械に接触したり、機械を運転したりしてはならない。

嵐や落雷時には機械を運転しないこと。

機械を溶接時のアースとして使用しないこと。

転倒の危険性

作業担当者及び機器類がプラットフォームの最大定格荷重又はプラットフォーム延長の最大定格荷重を超えることはできません。

最大定格荷重－GS-2668 RT	
ラットフォーム格納時	567 kg
プラットフォーム伸長時－プラットフォームのみ プラットフォーム伸長時－伸長部のみ	431 kg 136 kg
最大乗員数－ANSI 及び CSA	4
最大乗員数－CE 屋外使用 屋内使用のみ	 4 4



567 kg　伸長部のみ 136 kg　プラットフォームのみ 431 kg

最大定格荷重－GS-3268 RT	
プラットフォーム格納時	454 kg
プラットフォーム伸長時－プラットフォームのみ プラットフォーム伸長時－伸長部のみ	318 kg 136 kg
最大乗員数－ANSI 及び CSA	4
最大乗員数－CE 屋外使用 屋内使用のみ	 2 4



454 kg　伸長部のみ 136 kg　プラットフォームのみ 318 kg

リミット・スイッチを変更したり、その機能を停止したりしないでください。

プラットフォームが上昇している状態で時速 0.8 kmを超えて運転しないでください。

堅固で水平な地面以外ではプラットフォームを上昇させないでください。

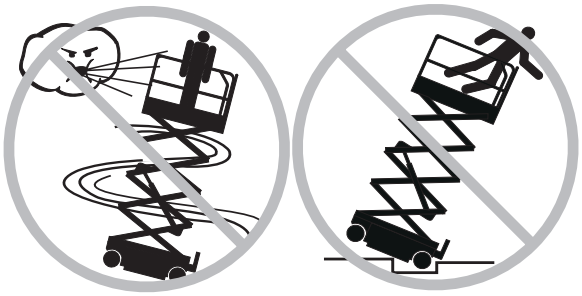


隣接する構造物によりプラットフォームの動きが取れなくなったり、障害物により通常の動きが取れなくなった場合は、プラットフォーム・コントロールを使用しないでください。 グラウンド・コントロールを使用して、プラットフォームを動かす前に、作業担当者全員をプラットフォームから降ろしてください。

水準の確認をチルトアラームに頼らないでください。機械が急斜面にある時に、シャーシ及びプラットフォームにあるチルト・アラームが作動します。

チルトアラームが鳴った場合は： プラットフォームを下げる。機械を堅固で水平な地面に移動する。プラットフォームを上昇中にチルトアラームがなった場合は、最大限の注意を払ってプラットフォームを下げる。

強風や突風時には、機械の運転をしないでください。プラットフォームの表面積を広げたり、荷重を増やさないでください。風を受ける面積が増すと、機械の安定性が悪化します。



水平でない地面や不安定な地面の上又はその近くで、あるいは他の危険な状況において、ブームを上げた状態で機械を移動しないでください。

プラットフォームを下げた状態で、水平でない地面、瓦礫上、不安定あるいは滑りやすい地面、穴や段差のそばを通って機械を移動する場合は、最大限の注意を払い、ゆっくりと運転してください。

プラットフォームの外にある物体を押し離したり、引き寄せたりしないでください。

GS-2668 RT	
ANSI 及び CSA - 4人	890N
CE－屋内使用のみ - 4 人	890N
CE－屋外使用のみ - 4 人	400N
GS-3268 RT	
ANSI 及び CSA - 4人	890N
CE－屋内使用のみ - 4 人	890N
CE－屋外使用のみ - 2 人	667N



安全規則

部品を変更したりその機能を停止させることにより、機械の安全性や安定性に影響を及ぼさないでください。

機械の安定性に関わる重要部品を、異なる重量や仕様の部品と交換しないでください。

プラットフォームを改造・変更しないでください。プラットフォーム、踏み板、ガードレール等に工具や資材を収納するための付属品を取付けると、プラットフォームの重量、表面積、荷重等が増加します。

機械のいかなる場所にも固定荷重又は張り出し荷重を加えないでください。



はしごや足場をプラットフォームに乗せたり、機械に立て掛けたりしないでください。

移動中あるいは可動式の地面または車両上で機械を使用しないでください。

タイヤが全て正常で、キャッスル・ナットが適正に締められており、コッタ・ピンが適切に取付けられているかどうかを確認してください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

プラットフォームで他の機械や物体を押さないでください。

プラットフォームで近接する構造物に接触しないでください。

プラットフォームを近接する構造物に固定しないでください。

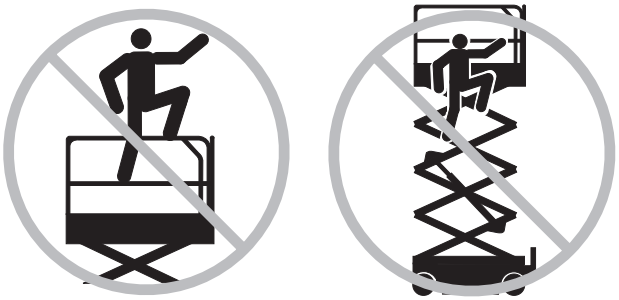
プラットフォームの外周に荷重を掛けないでください。

落下の危険性



作業担当者は、関連法規に従い、安全ベルトや安全ハーネスを着用してください。命綱はプラットフォームに設けられた固定部に取付けてください。

プラットフォームのガードレールに腰掛けたり、立ったり、登ったりしないでください。プラットフォームの上では、常に両足をしっかりと構えて立ってください。



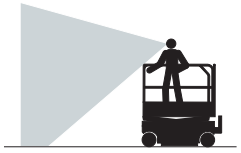
上昇したプラットフォームから外に降りないでください。

プラットフォームの床にゴミ類を置かないでください。

運転の前に搭乗ゲートを閉めてください。

ガードレールが適切に取付けられ、搭乗ゲートが締まるまでは、機械を運転しないでください。

衝突の危険性



移動中又は操作中は限られた視認距離と死角に注意してください。

機械を移動する時は、プラットフォームの拡張部に注意してください。

ブレーキを解放する前に、機械を水平な地面に置くか、固定するかしなければなりません。

機械運転時に作業担当者は承認されたヘルメットを着用することを推奨します。

頭上の障害物及びその他の危険性について作業場所を点検してください。

プラットフォームのガードレールを掴んでいる時



は、特に指が挟まれないように注意してください。

運転及び操舵機能については、プラットフォーム・コントロール及びプラットフォーム表示ラベル・プレートにある色分けされた指示矢印に従ってください。

クレーンの制御装置が施錠されているか、あるいは衝突を未然に防ぐための予防策が講じられていないかぎり、クレーンの移動範囲内で機械を運転しないでください。

機械の操作中は危険な操作をしたり、ふざけたりしないでください。

プラットフォームを下げる前に、その下に人や障害物が存在しないことを確認してください。



地面の状況、混雑度、勾配、作業スタッフの位置等の、衝突を起こす可能性のある条件に従って運転のスピードを制御してください。

部品の破損による危険性

エンジンをジャンプスタートさせる時は、12 ボルトを超えるバッテリーや充電器を使用しないでください。

機械を溶接時の接地として使用しないでください。

エンジンを始動する前に、油圧締切弁（油圧タンクの横にある）が開かれていることを確認してください。

爆発及び火災の危険性

液化石油ガス(LPG)、ガソリン、ディーゼル燃料等の爆発性物質の匂いがする場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンがかかっている状態で燃料の補給はしないでください。

火花、裸火、煙草の火等のない、良く換気されている広い場所でのみ燃料の補給及びバッテリーの充電を行ってください。

引火性あるいは爆発性ガスや粒子が存在する可能性のある危険な場所で機械を操作しないでください。

安全規則

機械の破損による危険性

損傷した機械、誤動作する機械は使用しないでください。

作業開始前には、始業前点検を完璧に行い、機能検査を全て行ってください。損傷した機械、誤動作する機械は直ちに札を貼り使用できないようにしてください。

このマニュアル及び該当する Genie サービス・マニュアルの規定に従い、全てのメンテナンスが行われていることを確認してください。

表示ラベルが全て所定の位置に見えるように貼ってあることを確認してください。

運転マニュアル、安全マニュアル、責任分担マニュアルが完全に揃っていて、読める状態でプラットフォームの保管箱の中にあることを確認してください。

押しつぶされる危険

手足をリフト機構に挟まれないようにしてください。

グラウンド・コントロールで機械を運転する場合は、常識を働かせ考えてから行動してください。運転者、機械、固定物等との間の安全距離を保ってください。

スナップ・ピンを引く時は、プラットフォームの手すりをしっかり掴みます。プラットフォームのガードレールが下がらないようにしてください。

人身事故の危険性

機械は常に換気の良い場所で運転し、一酸化炭素中毒にならないようにしてください。

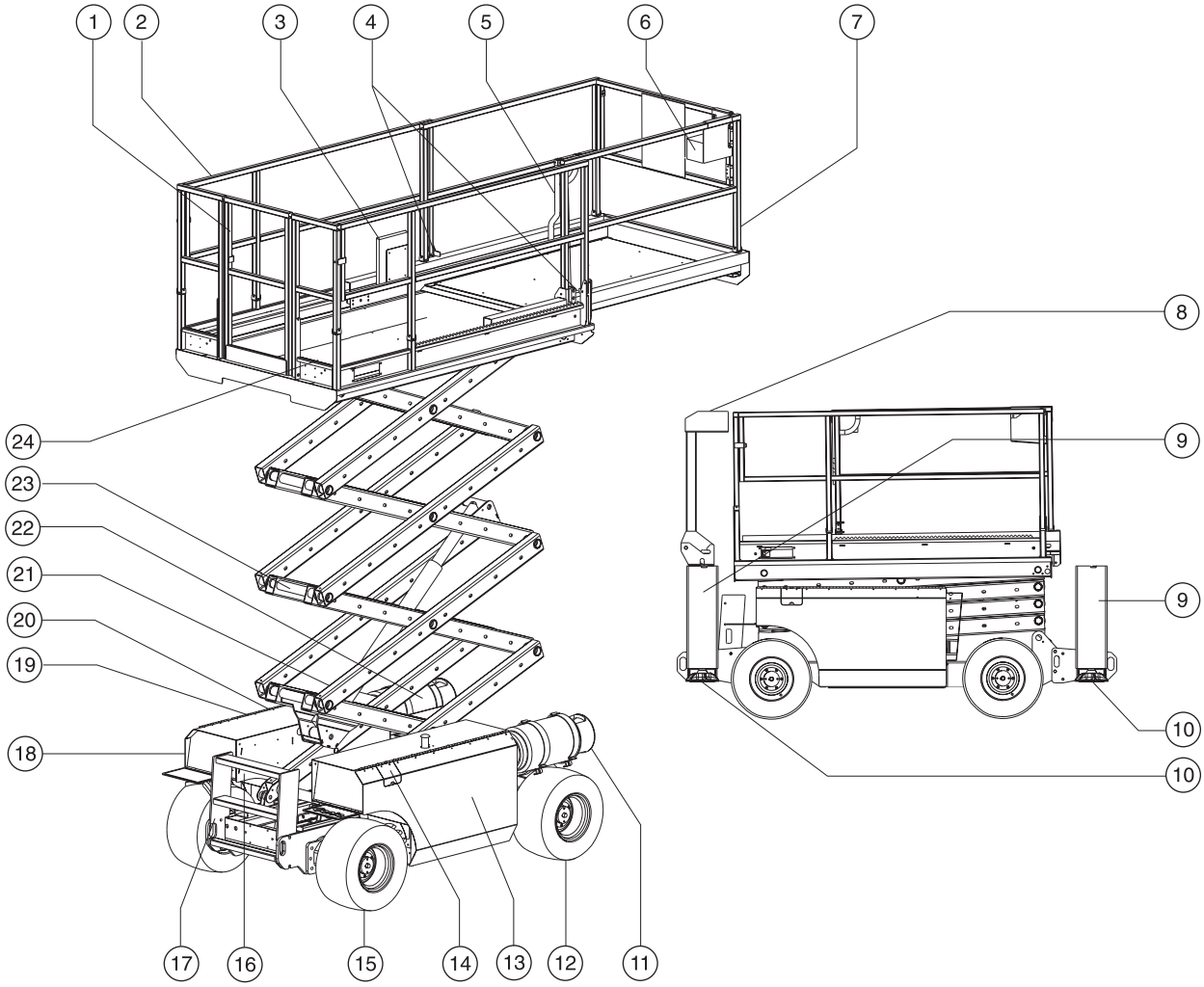
油圧オイル漏れ又は空気漏れがある時は機械を操作しないでください。空気漏れ又は油圧オイル漏れは皮膚をキズつけたりやけどをすることがあります。

表示ラベル凡例

Genie 製品の表示ラベルでは、シンボル、色分け、警告用語を用い、以下の内容を表示しています。

	安全警告シンボル－作業担当者に人身事故の可能性があることを警告するために使用します。人身事故又は死亡事故の危険性を避けるため、このシンボルの付いた安全メッセージには必ず従ってください。
⚠ 危険	赤－避けられなかった場合、死亡事故又は重大な人身事故に結びつく、差し迫った危険な状況が存在することを示すために使用されます。
⚠ 警告	オレンジ－避けられなかった場合、死亡事故又は重大な人身事故に結びつく可能性のある危険な状況が存在することを示すために使用されます。
⚠ 注意	安全警告シンボル付き黄色－避けられなかった場合、軽度又は中度の人身事故に結びつく可能性のある危険な状況が存在することを示すために使用されます。
注意	安全警告シンボルなしの黄色－避けられなかった場合、物損事故に結びつく可能性のある危険な状況が存在することを示すために使用されます。
告知	緑－操作情報やメンテナンス情報を示すために使用されます。

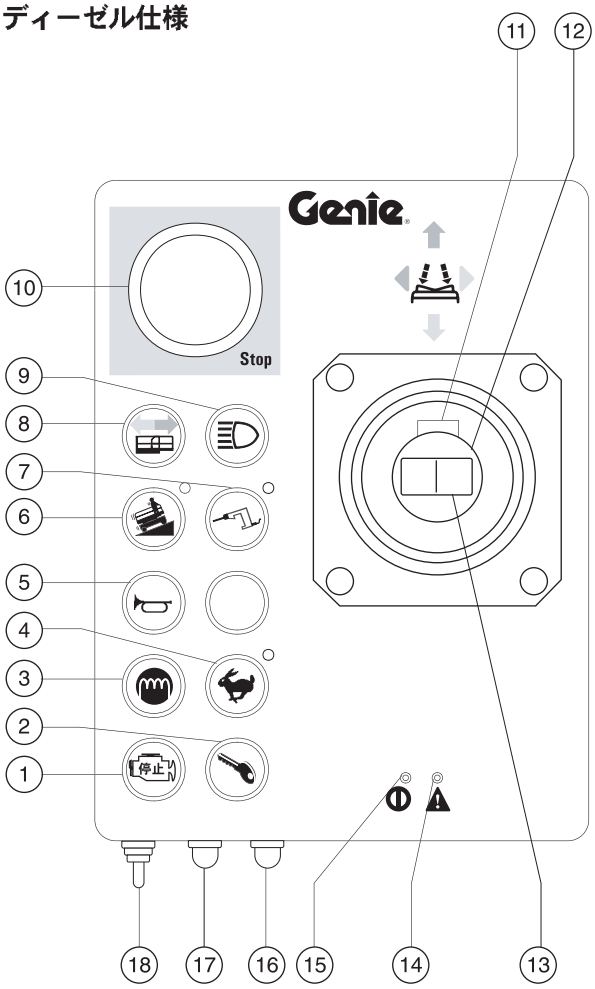
凡例



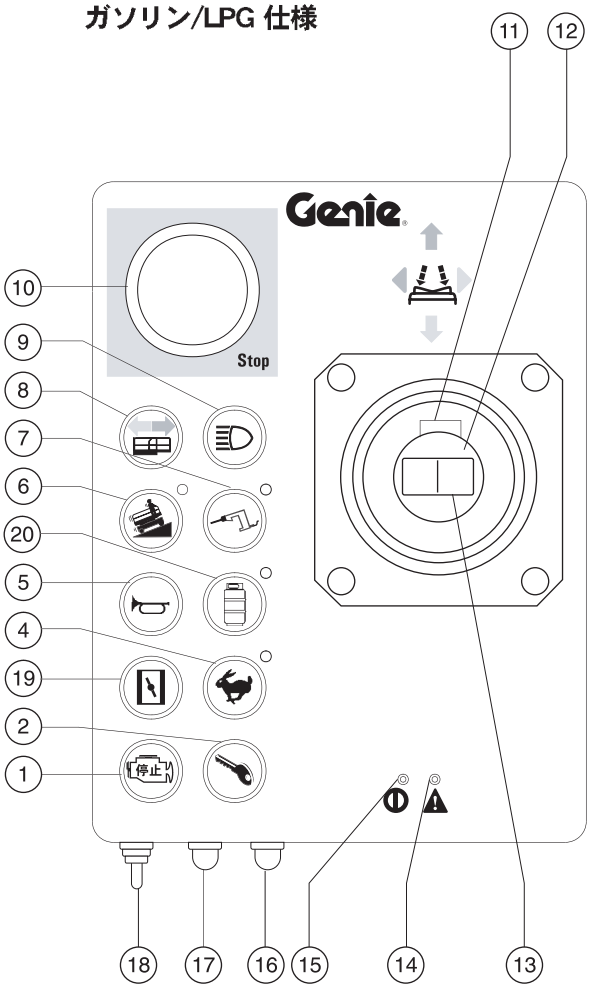
1 プラットフォーム・搭乗ゲート
2 プラットフォーム・ガードレール
3 マニュアル保管コンテナ
4 命綱固定ポイント
5 プラットフォーム延長部ロック・ハンドル
6 プラットフォーム・コントロール
7 プラットフォーム延長部
8 アウトリガー・コントロール・パネル（手動コントロール・アウトリガーが装備されている場合）
9 アウトリガー・ハウジング（アウトリガーが装備されている場合）
10 アウトリガー・フットパッド（アウトリガーが装備されている場合）
11 LPG タンク
12 操舵タイヤ
13 エンジン・サイド・カバー
14 燃料タンク
15 非操舵タイヤ
16 チルト・アラーム（カバーの下）
17 搭乗梯子/輸送のためのタイダウン
18 手動下降弁及び LED ダイアグノーシス表示付きグラウンド・コントロール
19 グラウンド・コントロール・サイド・カバー
20 油圧オイル・レベル・インジケータ（カバーの下）
21 ブレーキ解放ポンプ・ノブ及びブレーキ解放ノブ（図では隠れて見えない）
22 LPG タンク（オプション）
23 セーフティ・アーム
24 GFCI コンセント

制御

ディーゼル仕様



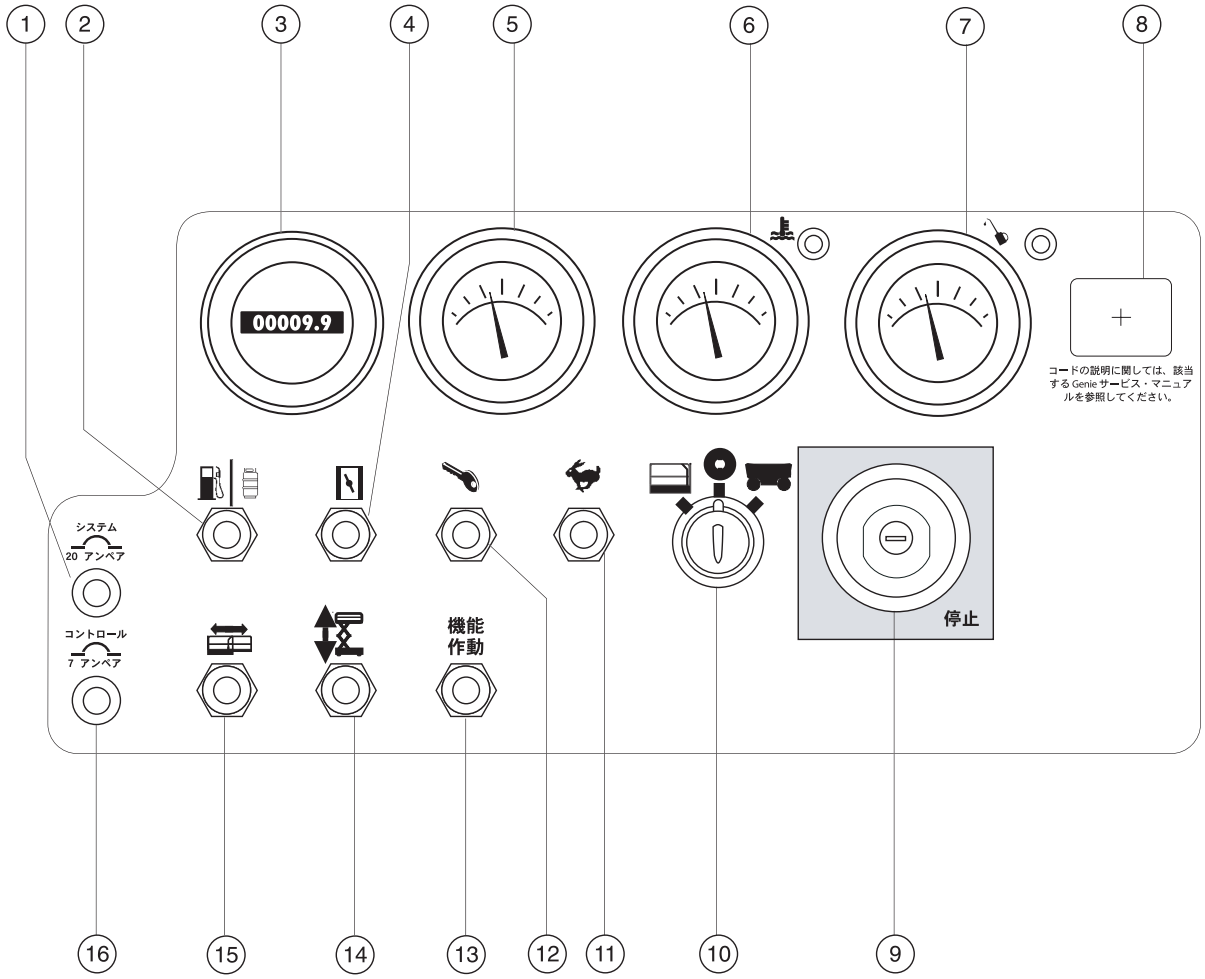
ガソリン/LPG 仕様



プラットフォーム・コントロール（アウトリガーなし）

1 エンジン停止ボタン
2 エンジン始動ボタン
3 グロー・プラグ・ボタン（ディーゼル仕様）
4 インジケータ・ライト付きアイドルアップ・ボタン
5 ホーン・ボタン
6 登降坂ボタン 登降坂のための低速運転
7 インジケータ・ライト付き発電機選択スイッチ
8 プラットフォーム延長/格納作動ボタン（オプション）
9 ヘッドライト/テールライト・ボタン（オプション）
10 非常停止ボタン
11 機能作動スイッチ
12 運転機能、プラットフォーム延長/格納機能（オプション）のための比例制御ハンドル
13 操舵機能のための親指ロッカー・スイッチ
14 エラー・インジケータ・ライト
15 電源ライト
16 昇降機能のための機能作動/高速選択ボタン
17 昇降機能のための機能作動/低速選択ボタン
18 プラットフォーム昇降選択スイッチ
19 チョーク・ボタン（ガソリン/LPG 仕様）
20 インジケータ・ライト付き LPG 運転ボタン（ガソリン/LPG 仕様）

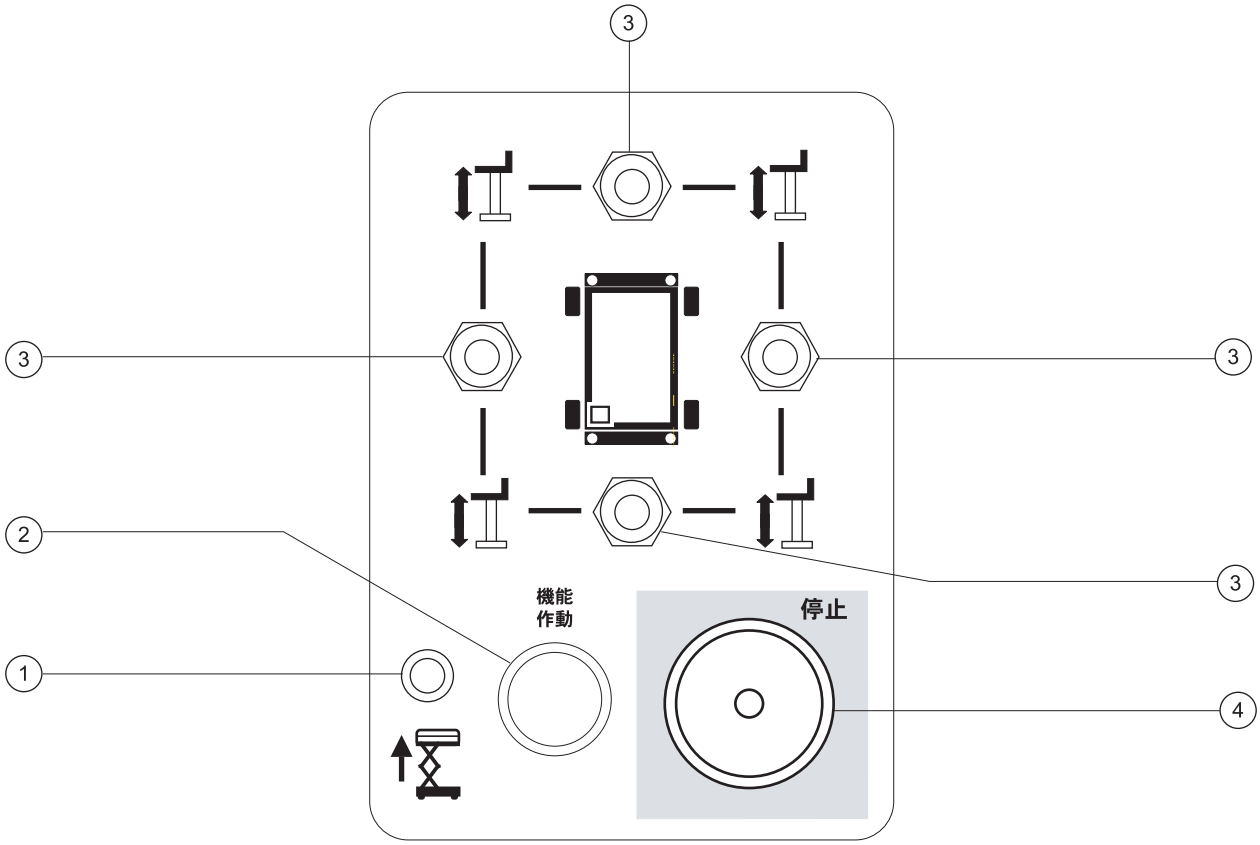
制御



グラウンド・コントロール・パネル

1 システム回路用 20 アンペア・サーキットブレーカ
2 燃料選択スイッチ（ガソリン/LPG 仕様）
3 アワーメータ
4 チョーク・スイッチ（ガソリン/LPG 仕様）
グロー・プラグ・スイッチ（ディーゼル仕様用オプション）
5 ボルト・メータ（オプション）
6 インジケータ・ライト付き水温ゲージ（オプション）
7 インジケータ・ライト付きエンジン油圧ゲージ（オプション）
8 LED ダイアグノーシス表示
9 非常停止ボタン
10 プラットフォーム/オフ/グラウンド・コントロール選択キー・スイッチ
11 アイドルアップ選択切り替えスイッチ
12 エンジン始動切り替えスイッチ
13 機能作動切り替えスイッチ
14 プラットフォーム昇降切り替えスイッチ
15 プラットフォーム伸長/格納作動切り替えスイッチ（オプション）
16 コントロール回路用 7 A サーキットブレーカ

制御

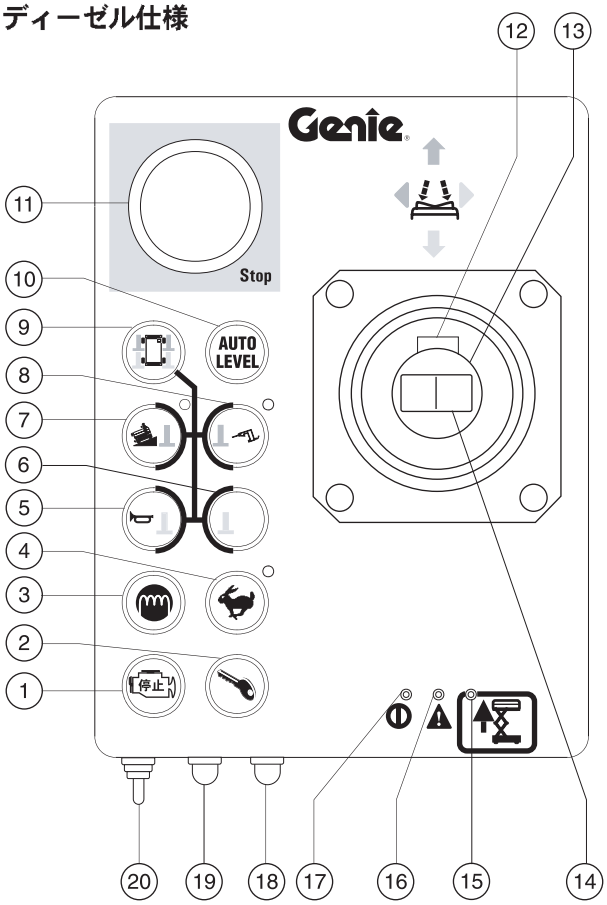


アウトリガー・コントロール・パネル（手動コントロール・アウトリガー装備）

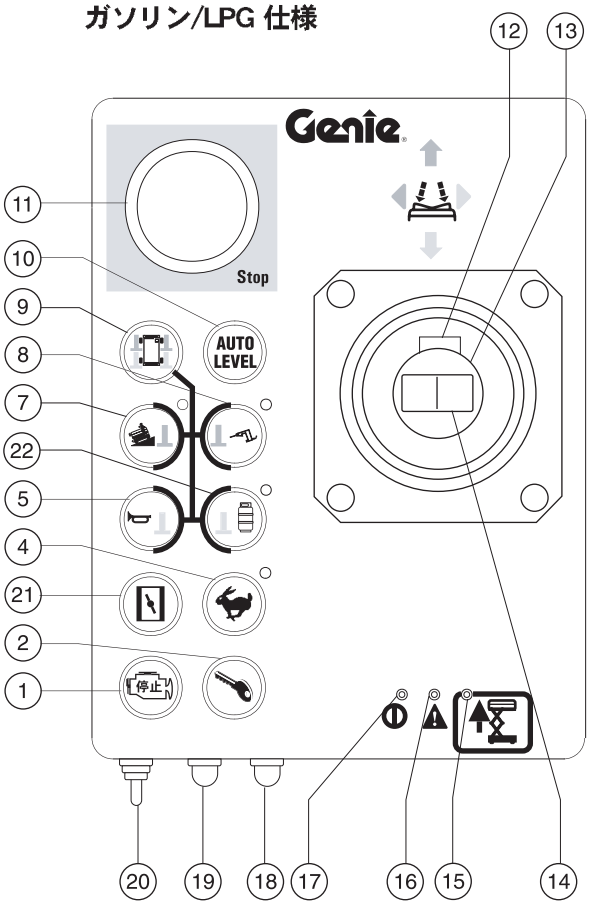
1 リフト・エラー・インジケータ・ライト
2 機能作動ボタン
3 アウトリガー昇降ボタン
4 非常停止ボタン

制御

ディーゼル仕様



ガソリン/LPG 仕様



プラットフォーム・コントロール（オート・レベル・アウトリガー装備）

1 エンジン停止ボタン
2 エンジン始動ボタン
3 グロー・プラグ・ボタン（ディーゼル仕様）
4 インジケータ・ライト付きアイドルアップ・ボタン
5 アウトリガー及びホーン・ボタン
6 アウトリガー・ボタン
7 アウトリガー及び登降坂ボタン 登降坂のための低速運転
8 インジケータ付きアウトリガー及び発電機選択ボタン
9 アウトリガー機能作動スイッチ
10 アウトリガー・オート・レベル・ボタン
11 非常停止ボタン
12 機能作動スイッチ
13 運転機能、プラットフォーム延長/格納機能（オプション）のための比例制御ハンドル
14 操舵機能のための親指ロッカー・スイッチ
15 リフト・エラー・インジケータ・ライト
16 エラー・インジケータ・ライト
17 電源ライト
18 昇降機能のための機能作動/高速選択ボタン
19 プラットフォーム昇降機能のための機能作動/低速選択ボタン
20 プラットフォーム昇降及びアウトリガー昇降切り替えスイッチ
21 チョーク・ボタン（ガソリン/LPG 仕様）
22インジケータ・ライト付きアウトリガー及び LPG 運転ボタン（ガソリン/LPG 仕様）

始業前点検



運転に際しては、以下の項目を遵守してください。

☑ 運転者は、運転マニュアルに書かれている機械の安全運転の原則を理解し、習熟してください。

1 危険な状況を避ける。

2 始業前点検を必ず行う。

次のセクションに進む前に始業前点検を熟知し、完全に理解してください。

3 使用に先立って必ず機能検査を行う。

4 作業場所の点検を行う。

5 本来の目的以外に使用しない。

基本事項

始業前点検及び日常点検を行うことは運転者の責任です。

始業前点検は運転者が作業開始前に行う目視点検です。この点検は、運転者が機能検査を行う前に、機械に明らかな問題があればそれを発見することを意図しています。

始業前点検は日常点検手順が必要かどうかを決定するのにも役立ちます。運転者はこのマニュアルに規定された日常メンテナンス項目のみを行うことができます。

次ページのリストを参照し、各項目、変更箇所、部品の破損、緩み又は紛失を点検してください。

損傷した機械又は改造された機械は決して使用できません。損傷又は工場純正仕様からの変更が発見された場合、機械に札を貼り使用できないようにしてください。

機械の修理は、メーカーの仕様に従って、資格を持つ修理技術者だけが行うことができます。修理完了後、運転者は機能検査の前に再度始業前点検を行わなければなりません。

メーカーの仕様及び責任分担マニュアルに記載された要件に従って、資格を持つ修理技術者による定期メンテナンス点検を行ってください。

始業前点検

- ❑ 運転マニュアル、安全マニュアル、責任分担マニュアルが読める状態でプラットフォームの保管箱の中にあることを確認する。
- ❑ 全ての表示ラベルが読める状態にあり、定められた場所にあることを確認する。表示ラベルのセクション参照。
- ❑ エンジン・オイル漏れ及びオイル・レベルが適切かどうかを点検する。必要に応じてオイルを足す。メンテナンス・セクション参照。
- ❑ 油圧オイル漏れ及びオイル・レベルが適切かどうかを点検する。必要に応じてオイルを足す。メンテナンス・セクション参照。
- ❑ エンジン・クーラント漏れ及びクーラント・レベルが適切かどうかを点検する。必要に応じてクーラントを足す。メンテナンス・セクション参照。
- ❑ バッテリー液漏れ及び液のレベルが適切かどうかを点検する。必要に応じて蒸留水を足す。メンテナンス・セクション参照。

以下の部品又は個所で部品の損傷、変更、不適切な装着、紛失等がないか点検する。

- ❑ 電気部品、ワイヤ配線類
- ❑ 油圧ホース、継ぎ手、シリンダー及びマニホルド
- ❑ 燃料タンク及び油圧タンク
- ❑ ドライブ・モータ
- ❑ 磨耗パッド
- ❑ タイヤ及びホイール
- ❑ エンジン及び関連部品
- ❑ リミット・スイッチ、アラーム、ホーン
- ❑ ナット、ボルト等のファスナー
- ❑ プラットフォーム・搭乗ゲート
- ❑ ビーコン及びアラーム（装備されている場合）
- ❑ ブレーキ解放部品
- ❑ セーフティ・アーム
- ❑ プラットフォーム伸長部
- ❑ シザー・ピン及びリテーナ・ファスナー
- ❑ プラットフォーム・コントロール・ジョイスティック
- ❑ 発電機（装備されている場合）

機械全体について以下の項目を点検してください。

- ❑ 溶接部又は構造部品のクラック
- ❑ 機械のへこみ又は損傷
- ❑ 構造部品及びその他の重要部品が全て揃っており、関連するファスナー及びピンが定められた場所にあり、緩んでいないことを確認する。
- ❑ サイド・レールが取付けられており、スナップ・ピン及びボルトが締まっている。

メンテナンス



以下の項目を遵守してください。

☑ 運転者はこのマニュアルに規定されている日常メンテナンス項目のみを行うことができます。

☑ メーカーの仕様及び責任分担マニュアルに記載された要件に従って、資格を持つ修理技術者が定期メンテナンス点検を行ってください。

メンテナンス・シンボル凡例

告知 指示の意図を伝える手助けとして、以下のシンボルがこのマニュアルで使用されています。メンテナンス手順の最初のシンボルは、次のことを意味します。



この手順を行うにはツールが必要です。



この手順を行うには新規部品が必要です。



この手順を行う前にエンジンを冷ましておく必要があります。

エンジン・オイル・レベルの点検



エンジン・オイル・レベルを適切に保つことは、エンジンの性能を保ち機械の寿命を維持するために欠くことができません。不適切なオイル・レベルでの運転は、エンジン部品を損傷する恐れがあります。

告知 エンジンを停止した状態でオイル・レベルを点検してください。

1 オイル・レベル・ディップスティックを点検する。

⊙ 結果： オイル・レベルがディップスティックの FULL マークになければなりません。必要に応じオイルを補充してください。

クボタ DF-750 エンジン **オイル容量（フィルタを含む）**	3.25リットル

オイル粘度要件

高磨耗防止効果のため API 分類 SF（SF/CC又はSF/CDのラベル）の基準を満たすオイルを使用してください。機械の工場出荷時には 10W-40 SG/CC が使用されています。

クボタ DF-905 エンジン **オイル容量（フィルタを含む）**	5.1リットル

オイル粘度要件

エンジン・オイルは、API 分類 CC/SE、CD/SE、 CC/SF、CD/SF グレードのいずれかの特性を備えていなければなりません。機械の工場出荷時には 10W-40 SG/CC が使用されています。

油圧オイル・レベルの点検

油圧オイル・レベルを適切に保つことは、機械の運転に欠かすことができません。不適切な油圧オイル・レベルは、油圧部品を損傷する恐れがあります。日常点検を行うことにより、油圧システムの問題点を示すオイル・レベルの変化に気づくこともあります。

告知 プラットフォーム格納状態で、エンジンを停止してから、この手順を行ってください。

1 油圧オイル・タンクの横のサイト・ゲージを目視点検する。

⊙ 結果： 油圧オイル・レベルはサイト・ゲージの上から 5 cm 以内でなければなりません。

2 必要に応じてオイルを補充する。補充しすぎないでください。

油圧オイル仕様	
油圧オイル・タイプ	Dexron 相当品
タンク容量	81.4 リットル
油圧システム（タンクを含む）	94.6 リットル

バッテリーの点検

バッテリー状態を適切に保つことは、エンジンの性能を保ち安全な運転を維持する上で欠かすことができません。不適切な液レベルや損傷したケーブル端子等はエンジン部品の損損傷や危険な状態に結びつく恐れがあります。

⚠ 警告 感電死の危険性 通電中の回路に触れると死亡事故や重大な災害事故に結びつく恐れがあります。指輪、時計、宝石類は全て外してください。

⚠ 警告 人身事故の危険性 バッテリーには酸が含まれています。バッテリーの酸がこぼれたり、皮膚に触れたりしないようにしてください。バッテリーの酸がこぼれた場合は、重炭酸ナトリウム(重曹)と水で中和してください。

1 バッテリーを扱う時は、常に保護衣服、保護メガネを着用する。

2 バッテリー端子が腐食していないことを確認する。

3 バッテリーが固定されており、ケーブル端子がしっかり締まっていることを確認する。

4 バッテリー・ベント・キャップを外す。

5 バッテリー液のレベルを点検する。必要に応じ、蒸留水をバッテリー補給チューブの下まで補給する。 補給しすぎないこと。

6 ベント・キャップを装着する。

告知 端子プロテクターや腐食防止シーラントを付けるとバッテリー端子やケーブルの腐食を防ぐことができます。

メンテナンス

エンジン・クーラント・レベルの点検



エンジン・クーラント・レベルを適切に保つことは、エンジンの寿命を維持するために欠かすことができません。不適切なクーラント・レベルはエンジンの冷却能力に影響し、エンジン部品を破損する恐れがあります。 日常点検を行うことにより、冷却システムの問題点を示すクーラント・レベルの変化に気づくこともあります。

1 クーラント回収タンクの液レベルを点検する。必要に応じ液を補充する。

⊙ 結果： 液面レベルが NORMAL レンジ内にあること。

⚠ 警告 人身事故の危険性 ラジエータ液は、圧力がかかっており、非常に高温です。 キャップを取り、液を補充する時は、注意してください。

定期メンテナンス

定期メンテナンス項目は、サービス・マニュアルの手順に従って、この機械のメンテナンスを行う資格をもつ訓練を受けた担当者によって実施されなければなりません。

以下に記した点検及びメンテナンスについては、責任者が点検及びメンテナンス項目全てを記録にとり、それを 4 年間保存管理する必要があります。

3 カ月以上使用されていなかった機械については、使用する前に 3 カ月点検を受けなければなりません。

スケジュール

定期的に行わなければならないメンテナンス点検には 5 種類あります—日常点検、3 カ月点検、6 カ月点検、12 カ月点検、24 カ月点検です。繰り返し手順を説明するのに、定期メンテナンス手順セクション及びメンテナンス点検レポートは 5 つの小区分—A、B、C、D、E に分かれています。以下のチャートを使用して、どのグループの手順が定期点検を必要としているのかを決定してください。

点検	テーブル又はチェックリスト
毎日又は 8 時間毎	A
3 カ月毎又は 250 時間毎	A + B
6 カ月毎又は 500 時間毎	A + B + C
12 カ月毎又は 1,000 時間毎	A + B + C + D
24 カ月毎又は 2,000 時間毎	A + B + C + D + E

メンテナンス点検レポート

メンテナンス点検レポートには定期点検の種類毎のチェックリストが含まれています。

各点検用にメンテナンス点検レポートのコピーを作成してください。完了した記録は 3 年間保存してください。

機能検査

運転に際しては、以下の項目を遵守してください。

☑ 運転者は、運転マニュアルに書かれている機械の安全運転の原則を理解し、習熟してください。

1 危険な状況を避ける。

2 始業前点検を必ず行う。

3 使用に先立って必ず機能検査を行う。

次のセクションに進む前に機能検査を熟知し、完全に理解してください。

4 作業場所の点検を行う。

5 本来の目的以外に使用しない。

基本事項

機能検査は、機械が使用される前に誤動作を発見することを目的とします。運転者はステップ毎の指示に従い、機械機能を全て検査しなければなりません。

誤動作する機械は決して使用できません。誤動作が発見された場合、機械に札を貼り使用できないようにしてください。 機械の修理は、メーカーの仕様に従って、資格を持つ修理技術者だけが行うことができます。

修理完了後、運転者は機械を使用する前に始業前点検及び機能検査を再度実施しなければなりません。

1 水平で堅固な障害物のない検査場所を選ぶ。

グラウンド・コントロール

2 プラットフォーム及びグラウンドの赤い非常停止ボタンを引き出し、オンの位置に合わせる。

3 キー・スイッチをグラウンド・コントロールに合わせる。

4 ダイアグノーシス LED の表示を確認する。



⊙ 結果： LED は右の写真のように見える筈である。

5 エンジンを始動する。 運転指示参照。

非常停止の検査

6 赤いグラウンド非常停止ボタンを押し込み、オフの位置に合わせる。

⊙ 結果： エンジンが停止し、全ての機能が作動しなくなる。

7 赤い非常停止ボタンを引き出し、オンの位置に合わせ、エンジンを再始動する。

昇降機能の検査

この機械の警報音及び標準ホーン音は 1 つの中央アラームからです。ホーンは一定のトーンを持っています。下降アラームは 1 分間に 60 回鳴ります。機械が水平にない時のアラームは、1 分間に 180 回鳴ります。

8 機能作動スイッチを一方に保たずに、プラットフォームの上昇降機能を作動させる。

⊙ 結果： どの機能も作動しない。

機能検査

9 機能作動スイッチを一方に保ったまま、プラットフォームの上昇機能を作動させる。

⊙ 結果： プラットフォームは上昇する。

10 機能作動スイッチを一方に保ったまま、プラットフォームの下降機能を作動させる。

⊙ 結果： プラットフォームは下降する。プラットフォームが下降中は、下降アラームが鳴る。

手動下降の検査

11 機能作動スイッチを一方に保ったまま、プラットフォームの上昇機能を作動させ、プラットフォームを約 0.6 m 上昇させる。

12 手動下降ノブを引くか、グラウンド・コントロールの隣にある手動下降ボタンを押す。

⊙ 結果： プラットフォームは下降する。下降アラームは鳴らない。

13 キー・スイッチをプラットフォーム・コントロールに合わせる。

プラットフォーム・コントロール

非常停止の検査

14 プラットフォームの赤い非常停止ボタン押し込みオフの位置に合わせる。

⊙ 結果： どの機能も作動しない。

15 赤い非常停止ボタンを引き出しオンの位置に合わせる。

⊙ 結果： 緑の電源ライトが点灯する。

ホーンの検査

16 ホーン・ボタンを押す。

⊙ 結果： ホーンが鳴る。

昇降機能及び機能作動スイッチの検査

17 エンジンを始動する。

18 プラットフォーム上昇機能を作動する。

⊙ 結果： プラットフォームは上昇しない。

19 機能作動/速度選択ボタンを押しそのままに保つ。

20 プラットフォーム上昇機能を作動する。

⊙ 結果： プラットフォームは上昇する。

21 機能作動ボタンを放す。

⊙ 結果： プラットフォームは上昇を停止する。

22 機能作動/速度選択ボタンを押しそのままに保つ。プラットフォーム下降機能を作動する。

⊙ 結果： プラットフォームは下降する。プラットフォームが下降中は、下降アラームが鳴る。

操舵機能の検査

注意: 操舵及び運転機能検査を行う際は、機械の進む側を向いて立ってください。

23 機能作動スイッチを押しそのままに保つ。

24 コントロール・ハンドルの一番上にある親指ロッカー・スイッチをコントロール・パネルの青い三角が指す方向に押す。

⊙ 結果： コントロール・パネル上で青い三角が指す方向に操舵車輪が向く。

25 親指ロッカー・スイッチをコントロール・パネルの黄色の三角が指す方向に押す。

⊙ 結果： コントロール・パネル上で黄色の三角が指す方向に操舵車輪が向く。

運転及びブレーキの検査

26 機能作動スイッチを押しそのままに保つ。

27 機械が動き始めるまで、ドライブ・コントロール・ハンドルをコントロール・パネルの青い矢印が示す方向にゆっくりと動かす。次にハンドルを中央位置に戻す。

⊙ 結果： 機械はコントロール・パネルの青い矢印を示す方向に動き、そこで急に止まる。

28 機能作動スイッチを押しそのままに保つ。

29 機械が動き始めるまで、ドライブ・コントロール・ハンドルをコントロール・パネルの黄色の矢印が示す方向にゆっくりと動かす。 次にハンドルを中央位置に戻す。

⊙ 結果： 機械はコントロール・パネルの黄色の矢印を示す方向に動き、そこで急に止まる。

注意: ドライブ・ブレーキは登坂可能な勾配で機械を停止させておくことができなければならない。

スピード制限機能の検査

30 機能作動/速度選択スイッチを押しそのままに保つ。プラットフォームを地上から約 1.83 m の位置に上昇させる。

31 機能作動スイッチを押しそのままに保つ。

32 コントロール・ハンドルをゆっくりとフル・ドライブ・ポジションに動かす。

⊙ 結果： プラットフォームを上げた状態で最高運転スピードは秒速 0.22 m を超えないこと。プラットフォームを上げた状態で最高運転スピードが秒速 0.22 m を超える場合は、直ちに札を貼り、その機械を使用できないようにしてください。

プラットフォーム延長部リミット・スイッチ（装備されている場合）

注意: GS-2668 モデルの中には、プラットフォーム延長部リミット・スイッチが装備されていないモデルもあります。このスイッチがプラットフォーム延長部の下方にあるかチェックします。この検査は、リミット・スイッチが装備されていない機械には不要です。

33 機能作動/速度選択スイッチを押しそのままに保つ。プラットフォームをいっぱいの高さまで上げる。

34 プラットフォーム延長部を伸ばす。

35 機能作動スイッチを押しそのままに保つ。

36 コントロール・ハンドルをゆっくりとフル・ドライブ・ポジションに動かす。

⊙ 結果： ドライブ機能が作動しない。

運転前に、プラットフォームを下げるか、プラットフォーム延長部を縮めてください。

チルト・センサの検査

注意: プラットフォーム・コントローラを使って、地上からこの検査を実施してください。プラットフォームには乗らないでください。

37 プラットフォームをいっぱいまで下げる。

38 片側の前後輪 2 つを 10 cm のブロック又は縁石に乗り上げる。

39 プラットフォームを上げる。

⊙ 結果－ANSI 及び CSA モデル チルト・アラームは 1 分間に 180 回鳴ります。

⊙ 結果－CEモデル 運転及び昇降機能が作動せず、チルト・アラームが1分間に180回鳴る。

40 プラットフォームを下げ、機械をブロックから降ろす。

作業場の点検



運転に際しては、以下の項目を遵守してください。

☑ 運転者は、運転マニュアルに書かれている機械の安全運転の原則を理解し、習熟してください。

1 危険な状況を避ける。

2 始業前点検を必ず行う。

3 使用に先立って必ず機能検査を行う。

4 作業場所の点検を行う。

次のセクションに進む前に作業場点検を熟知し、完全に理解してください。

5 本来の目的以外に使用しない。

基本事項

作業場所点検により、運転者は作業場所が機械の安全な運転に適切かどうかを判断することができます。作業場所点検は機械を作業場へ移動させる前に運転者が行う必要があります。

作業場所の危険性に関してマニュアルを読み、しっかり記憶し、機械の移動、セットアップ、運転時に注意してこれらの危険を回避することは運転者の責任です。

作業場の点検

以下の危険な状況に注意し、それらを回避してください：

- 段差や穴
- 出っ張り、床の障害物、瓦礫等
- 頭上の障害物や高電圧伝導体
- 危険な場所
- 機械の全荷重を支えるには不充分な地面
- 風及び天候条件
- 関係者以外の存在
- その他の起こり得る危険な状況

運転の方法



運転に際しては、以下の項目を遵守してください。

☑ 運転者は、運転マニュアルに書かれている機械の安全運転の原則を理解し、習熟してください。

1 危険な状況を避ける。

2 始業前点検を必ず行う。

3 使用に先立って必ず機能検査を行う。

4 作業場所の点検を行う。

5 本来の目的以外に使用しない。

基本事項

運転指示のセクションでは機械運転に関するそれぞれの指示が与えられます。運転マニュアル、安全マニュアル、責任分担マニュアルに書かれている全ての安全規則及び指示に従うことは、運転者の責任です。

作業担当者と工具類を高さの高い作業場へ運ぶ以外の目的に機械を使用することは、安全でないばかりか非常に危険です。

訓練及び許可を受けた作業担当者のみが機械の運転をすることができます。同じ作業現場において異なる時間帯に、2人以上の運転者が機械を運転することが予想される場合は、全員が資格を持つ運転者であり、運転マニュアル、安全マニュアル、責任分担マニュアルに書かれている全ての安全規則及び指示に従わなければなりません。このことは、運転者は全員が始業前点検、機能検査、作業場の点検を全て行わなければならないということです。

非常停止

全ての機能を停止するには、グラウンド・コントロール又はプラットフォーム・コントロールの赤い非常停止ボタンを押し込みオフの位置に合わせます。

どちらかの非常停止ボタンを押したにも関わらず作動する機能については修理してください。

運転の方法

エンジン始動

1 グラウンド・コントロールで、キー・スイッチを希望する位置に合わせる。

2 グラウンド・コントロール及びプラットフォーム・コントロールにある赤い非常停止ボタンがどちらもオンの位置に引き出してあることを確認する。

3 ガソリン/LPG 仕様： 燃料ソースを選択する。グラウンド・コントロール・パネル： 燃料選択切り替えスイッチを希望の位置に合わせる。プラットフォーム・コントロール・パネル： 燃料選択ボタンを押す。

4 エンジン始動ボタンを押す。

エンジンが 15 秒間クランキングしても始動しない場合は、誤動作の原因を突き止めて修理する。60 秒待ってから再始動を試みる。

全モデル： 全モデル：厳寒時（−6℃ 以下）は、油圧システムの故障を防ぐため、5 分間の暖機運転を行う。

ガソリン/LPG 仕様: 厳寒時（−6℃以下）は、最初にガソリンでエンジンを始動し、その後 LPG に切り替える。

ガソリン・モードで機械を運転する時は、必要に応じ、チョークを使用する。

グラウンド・コントロールからの運転

1 キー・スイッチをグラウンド・コントロールに合わせる。

2 グラウンド及びプラットフォーム両方の赤い非常停止ボタンを引き出しオンの位置に合わせる。

3 エンジンを始動する。

プラットフォームを動かす

1 機能作動スイッチを一方に保つ。

2 コントロール・パネルのマークに従い、昇降切り替えスイッチを操作する。

グラウンド・コントロールでは、ドライブ及び操舵機能は使用できない。

プラットフォームからの運転

1 キー・スイッチをプラットフォーム・コントロールに合わせる。

2 グラウンド及びプラットフォームの赤い非常停止ボタンを引き出しオンの位置に合わせる。

3 エンジンを始動する。

プラットフォームを動かす

1 機能作動/速度選択スイッチを押しそのままに保つ。

2 移動を希望する方向にプラットフォームの昇降機能切り替えスイッチを操作する。

操舵方法

1 機能作動スイッチを押しそのままに保つ。

2 コントロール・ハンドルの一番上にある親指ロッカー・スイッチを押し、操舵車輪の向きを変える。

運転方法

1 機能作動スイッチを押しそのままに保つ。

2 速度を上げる： コントロール・ハンドルを中央から外側へ動かす。

速度を下げる： コントロール・ハンドルを中央へゆっくり動かす。

停止： コントロール・ハンドルを中央に戻すか、機能作動スイッチを放す。

機械が進む方向を確認するには、プラットフォーム・コントロール及びプラットフォーム上の色分けされた方向を示す矢印を使用してください。

プラットフォームが上がっている時は、機械の運転速度は制限されます。

運転選択スイッチ



登降坂ボタン 登降坂のための低速運転

プラットフォームを延長・格納する（手動プラットフォーム延長部）

1 延長部ロック・ハンドルを水平位置に動かす。

2 プラットフォーム延長部ロック・ハンドルを押して、希望する位置までプラットフォームを伸ばす。

延長している時に、プラットフォーム延長部に立たないでください。

3 プラットフォーム延長部ロック・ハンドルを下げる。

GS-2668RT モデル： プラットフォーム延長制限スイッチ（装備されている場合）は、プラットフォームが延長されたまま、6.1 m の高さを超えると、運転機能を無効にします。運転するには、プラットフォームを下げるか、プラットフォーム延長部を縮めてください。

GS-3268RT モデル： プラットフォーム延長制限スイッチは、プラットフォームが延長されたまま、7.9 m の高さを超えると、運転機能を無効にします。運転するには、プラットフォームを下げるか、プラットフォーム延長部を縮めてください。

プラットフォームを延長・格納する（自動プラットフォーム延長部－オプション）

1 プラットフォーム延長/格納作動ボタンを押しそのままに保つ。

2 プラットフォームを延長する場合は、コントロール・ハンドルを青の方向へ、縮めるには黄色の方向へ動かす。

GS-2668RT モデル： プラットフォーム延長制限スイッチ（装備されている場合）は、プラットフォームが延長されたまま、6.1 m の高さを超えると、運転機能を無効にします。運転するには、プラットフォームを下げるか、プラットフォーム延長部を縮めてください。

GS-3268RT モデル： プラットフォーム延長制限スイッチは、プラットフォームが延長されたまま、7.9 m の高さを超えると、運転機能を無効にします。運転するには、プラットフォームを下げるか、プラットフォーム延長部を縮めてください。

コントローラを使った地上からの運転

運転者、機械、固定物間の安全距離を維持してください。

コントローラを使用する場合は、機械の移動する方向に注意してください。

エンジン停止ボタン

エンジンを停止するには、エンジン停止ボタンを押します。下降機能とホーンはエンジンが停止しても作動します。

機械の使用後

1 安全な駐車場所を選ぶ―堅固で水平な地面で、障害物がなく交通量が多くない場所。

2 プラットフォームを下げる。

3 キー・スイッチをオフの位置に合せ、無許可使用を防止するためキーを抜く。

4 車輪に輪止めをセットする。

運転の方法

手動コントロール・アウトリガー（装備されている場合）

Genie GS-2668RT 及び GS-3268RT モデルには、現場で取付け可能なアウトリガーのオプションがあります。アウトリガーはプラットフォームの外側に搭載されたコントロール・ボックスから操作します。以下の指示事項は、別付けコントロール・ボックスに適用されます。

1 希望する作業場所の下に機械を置く。

2 グラウンド及びプラットフォームの赤い非常停止ボタンを引き出す。アウトリガー・コントロール・パネルの赤い非常停止ボタンも引き出す。

3 アウトリガー昇降切り替えスイッチを作動させ、機械を水平にするように調整し、車輪を地面から僅かに浮かせます。コントロール・ボックス上の水準器を使用してください。各切り替えスイッチが 2 つのアウトリガーを操作します。

4 プラットフォームを上げる。チルト・アラームが鳴った場合は、プラットフォームを下げ、アウトリガーを調整してください。コントロール・ボックス上の水準器を使用してください。

アウトリガーが 1 つだけ下がった場合には、アウトリガー・コントロール・パネルのリフト・シンボル上の赤いインジケータ・ライトが点灯します。全ての運転及び昇降機能が無効となります。

アウトリガーが全て地面にしっかり接地した場合は、ライトが消灯します。アウトリガーが下げられている場合は、運転機能は無効となります。

無効になっている機能を操作しようとした場合、プラットフォーム・コントロール・パネルの故障ライトが点灯し、機械は作動しません。アウトリガーが地面にしっかりと接地しており、アウトリガー・コントロール・ボックスの赤いインジケータ・ライトが点灯していなくても、この状況は起こります。

機械を運転するには、赤い非常停止ボタンを一旦押し込み、次に引き出してオンの位置に合わせます。機械を再始動します。

オート・レベル・アウトリガー（装備されている場合）

この指示事項は、黒のオート・レベル・アウトリガー・コントロール・ボックス付きの機械に適用します。

1 希望する作業場所の下に機械を置く。



2 グラウンド及びプラットフォームの赤い非常停止ボタンを引き出す。

3 オート・レベル・ボタンを押しそのままに保つ

4 下降方向にアウトリガー昇降切り替えスイッチを操作する。

⊙ 結果： アウトリガーが伸びて、機械を水平にします。機械が水平になった時にビープ音で知らせます。

アウトリガーが 1 つだけ下がった場合には、アウトリガー・コントロール・パネルのリフト・シンボル上の赤いインジケータ・ライトが点灯します。全ての運転及び昇降機能が無効となります。

アウトリガーが全て地上にしっかり接地した場合は、ライトが消灯します。アウトリガーが下げられている場合は、運転機能は無効となります。

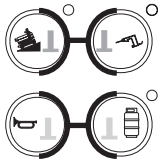
個々のアウトリガーをコントロールする

1 アウトリガー機能作動ボタンを押しそのままに保つ。



2 アウトリガー・ボタンを押しそのままに保つ。

3 機械を水平にするため、希望する方向にアウトリガー昇降切り替えスイッチを操作する。



輸送の方法



以下の項目を遵守してください。

- ☑ 機械をクレーンで吊上げる時は、機械の動きをコントロールするために、常識を働かせ予め計画をたててください。
- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車する。
- ☑ 輸送車両は機械を積載中に動き出さないように固定する。
- ☑ 車両容量、積載面積、チェーンやロープ類が機械の重量に十分耐えるものであることを確認する。 仕様セクション参照。
- ☑ ブレーキを解放する前に、機械を水平な地面に置くか固定する。

輸送のためのトラック又はトレーラーへの固定

輸送に備えて機械の車輪に輪止めをセットしてください。

輸送車両に固定するためにシャーシのタイダウン・ポイントを利用してください。

十分な荷重容量のあるチェーンやロープ類を使用してください。

キー・スイッチをオフの位置に合せ、輸送の前にキーを抜いてください。

ゆるみや固定されていない部分がないか、機械全体を点検してください。

ブレーキ解放操作

1 機械が動きださないように車輪に輪止めをセットする。

2 ウインチ・ラインがドライブ・シャーシのタイ・ポイントに適切に固定され、通り道に障害物がないことを確認する。

3 ブレーキ弁を開くため、ブレーキ解放ノブを反時計方向に回す。

4 ブレーキ解放ポンプ・ノブでポンプ作業を行う。

機械を設置後：

1 機械が動きださないように車輪に輪止めをセットする。

2 ブレーキをリセットするため、ブレーキ解放ノブを時計方向に回す。

Genie GS-2668 RT および GS-3268 RT を牽引することは推奨できません。牽引しなければならない時は、時速 3.2 km を超えないでください。

床荷重

基本事項

床荷重セクションは、この機械の荷重を支える面に対する 2 種類の圧力に関する情報を提供します。

局部圧力（タイヤ毎）

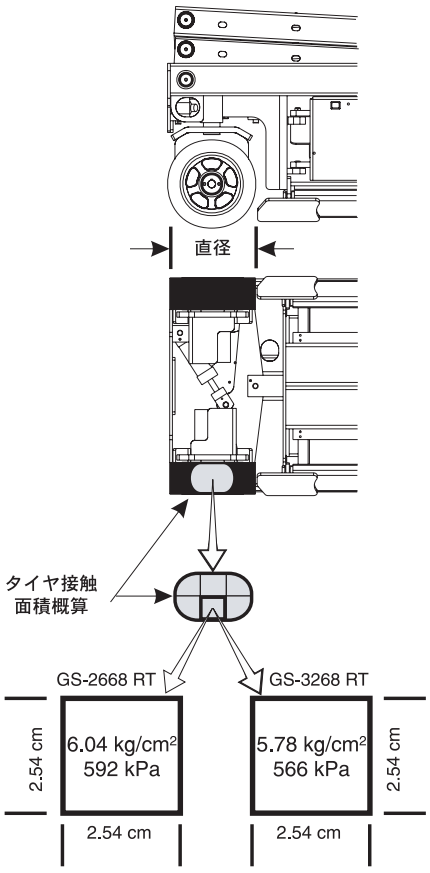
機械の下の地面の小さな面積に高圧が掛かることによる損傷を防止する必要がある場合は、この数値が重要です。

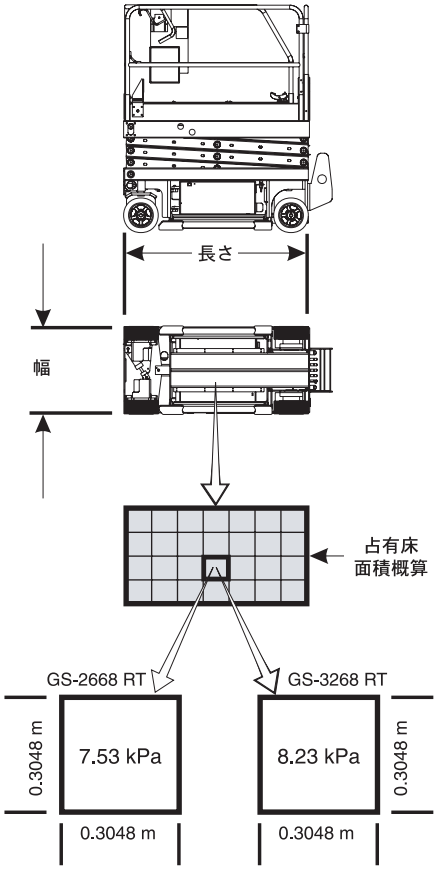
追加床荷重情報

モデル	GS-2668 RT
車両総重量 + 定格荷重	3538 kg
軸重、最大	1868 kg
輪重、最大	934 kg
モデル	**GS-3268 RT**
車両総重量 + 定格荷重	3865 kg
軸重、最大	1787 kg
輪重、最大	893 kg

占有圧力

機械がビームで支えられた床等で使用される場合は、この数値が重要です。機械による占有圧力は、床等が支えられる圧力を超えることはできません。





表示ラベル

表示ラベル点検

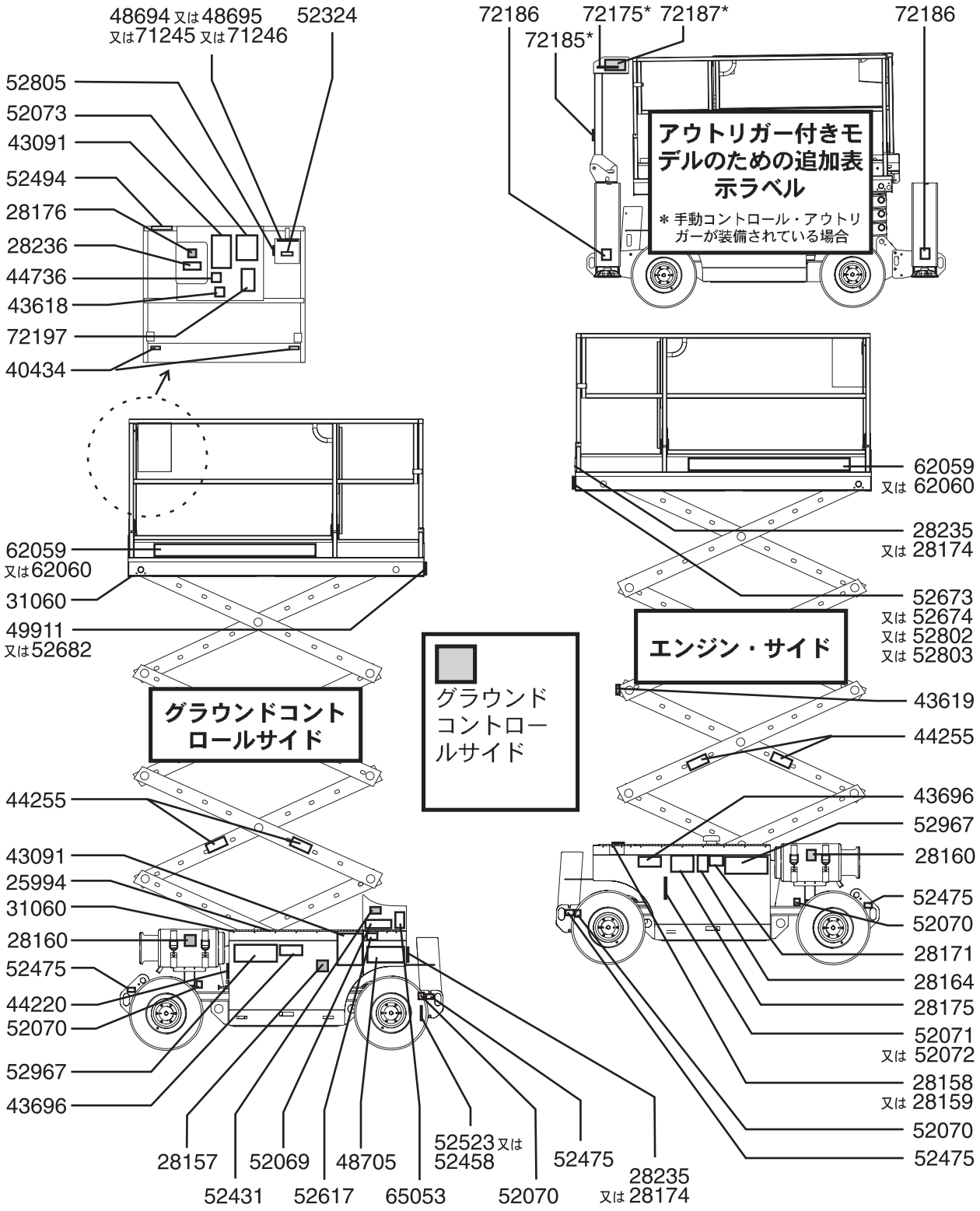
次ページの図を使って、全ての表示ラベルが読める状態にあり、定められた場所にあることを確認してください。

以下は数量・内容を示す数量リストです。

部品番号	内容	数量
25994JA	注意 - 部品損傷の危険性	1
28157JA	ラベル－Dexron	1
28158JA	ラベル－無鉛（ガソリン/LPG 仕様）	1
28159	ラベル－ディーゼル（ディーゼル仕様）	1
28160	ラベル－LPG（ガソリン/LPG 仕様） （余分の LPG タンクのオプションで1 つ追加）	1
28164JA	注意　危険物質	1
28171	ラベル－禁煙	1
28174JA	ラベル－プラットフォーム電力、230V	2
28175JA	注意－コンパートメント・アクセス	1
28176JA	注意－マニュアル紛失	1
28235JA	ラベル－プラットフォーム電力、115V	2
28236JA	警告－これを読まないと--- . .	1
31060JA	危険－リミット・スイッチを変更しないこと	2
40434JA	ラベル－命綱固定ポイント	2
43091JA	危険－一般安全規則	2
43618	ラベル－方向矢印	1
43619JA	ラベル－セーフティ・アーム	1
43696JA	危険－感電死の危険性	2
44220JA	危険/注意－ブレーキ解放安全手順及び運転指示	1
44255JA	危険－押しつぶされる危険	4
44736JA	危険－チルト・アラーム	1
48694	プラットフォーム・コントロール・ パネル、ガソリン/LPG 仕様	1
48695	プラットフォーム・コントロール・ パネル、ディーゼル仕様	1
48705JA	グラウンド・コントロール・パネル	1
49911JA	注意－567/136 kg－GS-2668 RT 及び DC	1
52069JA	注意－運転指示－グラウンド	1
52070JA	注意－タイヤの仕様	4
52071JA	注意－クボタ・ガス・エンジン仕様	1
52072JA	注意－クボタ・ディーゼル・エンジン仕様	1
52073JA	注意－運転指示－プラットフォーム	1

部品番号	内容	数量
52324JA	ラベル－昇降及び機能作動	1
52431JA	ラベル－グラウンド・コントロール・パネル	1
52458	シリアル・プレート－CE	1
52475JA	ラベル－輸送固定	4
52494JA	危険－押しつぶされる危険－手すり	1
52523	シリアル・プレート－ANSI 及び CSA	1
52617JA	ラベル－手動下降バルブ	1
52673JA	注意－最大横力 ANSI 及び CSA－GS-2668 RT 及び DC	1
52674JA	注意－最大横力 CE－GS-2668 RT 及び DC	1
52682JA	注意－最大荷重 454/136 kg－ GS-3268 RT 及び DC	1
52802JA	注意－最大横力 ANSI及びCSA－ GS-3268 RT及びDC	1
52803JA	注意－最大横力 CE－GS-3268 RT及びDC	1
52805JA	注意－プラットフォーム延長停止－ GS-3268 RT 及び DC	1
52967	エンブレム－4x4	2
62059	エンブレム－Genie GS-2668 RT	2
62060	エンブレム－Genie GS-3268 RT	2
65053JA	ラベル－故障コード	1
71245	プラットフォーム・コントロール・ パネル、ガソリン/LPG 仕様 オート・レベル・アウトリガー	1
71246	プラットフォーム・コントロール・ パネル、ディーゼル仕様 オート・レベル・アウトリガー	1
72175JA	アウトリガー・コントロール・パネル	1
72185JA	注意－押しつぶされる危険	1
72186JA	注意－押しつぶされる危険	4
72187JA	危険－安全及び指示・パネル	1
72197JA	危険－安全及び指示・オート	1

表示ラベル


48694 又は 48695
又は 71245 又は 71246
52324
52805
52073
43091
52494
28176
28236
44736
43618
72197
40434
72186
72175* 72187*
72185*
72186
アウトリガー付きモデルのための追加表示ラベル
* 手動コントロール・アウトリガーが装備されている場合
62059
又は 62060
31060
49911
又は 52682
62059
又は 62060
28235
又は 28174
52673
又は 52674
又は 52802
又は 52803
エンジン・サイド
43619
44255
43696
52967
28160
52475
52070
28171
28164
28175
52071
又は 52072
28158
又は 28159
52070
52475
グラウンドコントロールサイド
グラウンドコントロールサイド
44255
43091
25994
31060
28160
52475
44220
52070
52967
43696
28157
52431
52069
52617
48705
65053
52523 又は 52458
52070
52475
28235
又は 28174

仕様

モデル	GS-2668 RT
作業時の最大高	9.8 m
プラットフォームの最大高	7.9 m
プラットフォーム格納時の最大高 手すりを上げた状態	2.3 m
プラットフォーム格納時の最大高 手すりを下げた状態	1.5 m
プラットフォーム格納時の最大高 手すりを取外した状態	1.2 m
ガードレールの高さ	1.02 m
幅	1.73 m
長さ、プラットフォーム縮小時	2.67 m
長さ、プラットフォーム縮小時 アウトリガー付きモデル	3.3 m
長さ、プラットフォーム延長時	4.2 m
最大積載荷重	567 kg
ホイールベース	1.85 m
回転半径（外輪）	3.7 m
回転半径（内輪）	1.5 m
最低地上高	20.3 cm
車重	2,971 kg
アウトリガー付き重量	3,470 kg
登坂能力	40%
空気伝搬騒音 通常の運転ワークステーションにおける最大騒音レベル（A 加重調整値）	80 dB

原動機	クボタ 17 kW デュアル燃料 又は クボタ 15 kW ディーゼル
制御	比例
プラットフォームの交流コンセント	標準
最大油圧（機能）	241.3 kg/cm^2
タイヤ・サイズ	26 x 12 x 12
油圧システム容量	85.17 リットル
プラットフォーム寸法	
プラットフォーム長さ X 幅	2.5 x 1.5 m
プラットフォーム延長部長さ	1.5 m
運転速度	
プラットフォーム格納時、最大	時速 6.1 km
プラットフォーム上昇時、最大	時速 0.8 km 12.2 m/54.6 秒

製品の弛まぬ改善が Genie の理念です。製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

モデル	GS-3268 RT
作業時の最大高	11.8 m
プラットフォームの最大高	9.8 m
プラットフォーム格納時の最大高 手すりを上げた状態	2.5 m
プラットフォーム格納時の最大高 手すりを下げた状態	1.8 m
プラットフォーム格納時の最大高 手すりを取外した状態	1.3 m
ガードレールの高さ	1.02 m
幅	1.73 m
長さ、プラットフォーム縮小時	2.67 m
長さ、プラットフォーム縮小時	3.3 m
長さ、プラットフォーム延長時	4.2 m
最大積載荷重	454 kg
ホイールベース	1.85 m
回転半径（外輪）	3.7 m
回転半径（内輪）	1.5 m
最低地上高	20 cm
車重	3,411 kg
アウトリガー付き重量	3,910 kg
登坂能力	35%
空気伝搬騒音 通常の運転ワークステーションにおける最大騒音レベル（A 加重調整値）	80 dB

原動機	クボタ 17 kW デュアル燃料 又は クボタ 15 kW ディーゼル
制御	比例
プラットフォームの交流コンセント	標準
最大油圧 （機能）	241.3 kg/cm²
タイヤ・サイズ	26 x 12 x 12
油圧システム容量	85.17 リットル
プラットフォーム寸法	
プラットフォーム長さ X 幅	2.5 x 1.5 m
プラットフォーム延長部長さ	1.5 m
運転速度	
プラットフォーム格納時、最大	時速 6.1 km
プラットフォーム上昇時、最大	時速 0.8 km 12.2 m/54.6 秒

製品の弛まぬ改善が Genie の理念です。製品の仕様は予告なく変更することがあります。

販売元：

Genie North America
電話 425.881.1800
フリーダイヤル（米国及びカナダ）
800.536.1800
ファックス 425.883.3475

Genie Holland
電話 31 70 51 78836
ファックス 31 70 51 13993

Genie Denmark
電話 45 6612 5544
ファックス 45 6612 5530

Genie France
電話 33 2 37 26 09 99
ファックス 33 2 37 31 11 95

Genie Spain
電話 34 93 579 5042
ファックス 34 93 579 5059

Genie Germany
電話 49 4202 8852-0
ファックス 49 4202 8852-20

Genie U.K.
電話 44 1636 614700
ファックス 44 1636 611090

Genie Mexico City
電話 52 5 653 03 84
ファックス 52 5 664 40 16

Genie Australia Pty Ltd.
電話 1 61 7 3375 1660
ファックス 1 61 7 3375 1002

Genie China
電話 86 21 53852570
ファックス 86 21 53852569

Genie Malaysia
電話 604 228 1235
ファックス 604 226 6872

Genie Japan
電話 81 3 3453 6082
ファックス 81 3 3453 6083

Genie Korea
電話 82 2 558 7267
ファックス 82 2 558 3910

Genie Africa
電話 27 11 974 6838
ファックス 27 11 974 6797

Genie Latin America
電話 55 11 4055 2499
ファックス 55 11 713 1661